

令和2年度一般会計当初予算 ふるさとづくり応援基金活用事業一覧

活用基金総額 410,000千円

事業名	事業内容	ふるさとづくり応援基金活用額	
「移・職・住」促進事業	IJUターンや東京圏からの波佐見町への移住や住居建築奨励、継続的な婚活支援(出会いの場提供、セミナー開催、町内飲食店の利用促進)、新婚世帯への住居費用等支援、国の要綱で補助対象外となる浄化槽改修支援、仕事と住居が一体となった空き家・空き工房の改修支援によって、移住定住策を一層推進する。	28,000千円	
波佐見ファン拡大事業	更なる交流人口拡大を目指して、航空会社との連携や体験(バスツアー)・広報(SNS等)・ツール(リーフレット)の3つのメディアを使った波佐見町の魅力発信、ドローンを使った観光PR、憩いの場となる桜づつみ河川公園を活用したONSEN・ガストロノミーウォーキング、都市圏との交流受け入れ体制充実のための新たな民泊拠点整備や民泊の改修支援、特色ある土産品開発、西前寺公園の車泊施設整備など新たな形の観光を目指すことにより「波佐見ファン」を拡大する。	45,300千円	ふるさとを元気に楽しくする活動に関する事業 75,700千円
廃石膏リサイクル構築事業	廃石膏型のリサイクルは喫緊の課題であることから、外部専門家を招聘し、コスト低減も視野に入れた窯業と農業分野での地域内循環モデルを構築する。	2,400千円	
文化財活用事業	無形民俗文化財(野々川浮立)の映像記録、中尾郷・鬼木郷の文化的景観保存に向けた調査、はさみ「150」選や文化財パンフレットのリニューアルなど、貴重な文化財を活用した取り組みを行う。	6,000千円	未来に伝えたい 伝統文化の保存、 整備に関する事業 6,000千円
町並み整備事業	新しい町並み整備として、道路拡幅等の道路改良、老朽化に伴う公園施設を補修する。	29,400千円	懐かしい景観、 新しい町並み整備に 関する事業 29,400千円
子育て支援事業	長崎短期大学と連携した講座、誕生祝品として好評である波佐見焼の離乳食プレート贈呈、新たな施策として保育士確保のための住居支援に取り組む。	3,300千円	
人づくり推進事業	5~6ヶ月の乳児へ絵本を贈呈するブックスタート事業、町内の小学生を対象とした史跡見学等の郷土学習、基礎運動能力向上を目指したジュニア体育教室、英語に親しむ英会話体験教室を行い、中学生においては、作陶・窯焚きを体験するやきもの文化体験、実践的な英語を学ぶイングリッシュキャンプの実施、中学生以上を対象としたドローン講座の開催など、波佐見町の将来を担う人材を育てる。	5,000千円	
学力向上対策事業	リーディングスキルテストの実施による小中学生の読解力の把握、I-Check(学習動態調査等)や標準学力調査の実施による学力分析、タブレット導入を見据えたICT支援員配置、電子黒板の新たな導入、社会科副読本「わたしたちの波佐見町」の更新により、多角的に未来を担う子どもたちの学力向上を図る。	27,800千円	次世代を担う子供たちの 健全育成に関する事業 173,800千円
スポーツ・文化推進事業	図書館図書の実質や読書通帳導入、スポーツ少年団や中学校部活動への支援、小中高高校生がスポーツ・文化活動において全国大会等に出場する際の支援を行う。 また、甲辰園グラウンドのフェンス改修や体育センタートレーニング機器更新など体育設備も充実を図る。	12,800千円	
教育環境整備事業	中央小学校校舎や各学校設備の改修、通学路整備を行うとともに、児童・生徒の安全確保や未然防止のための防犯カメラを小中学校へ設置する。	103,000千円	
給食センター機能強化事業	食の安全を徹底するため、老朽化に伴う機能低下が見え始めた消毒保管庫の更新、更には子どもたちへ地元食材を提供する機会を増やす地産地消推進事業を昨年度に続き実施することで、給食センターの機能強化を図る。	21,900千円	
安心安全まちづくり事業	自治会要望の交通安全施設(ガードレールやカーブミラー)整備や防犯灯の整備、防火水槽改修、消防機能強化・迅速な活動のための第3分団ポンプ車更新、有事に備えた非常食・毛布・保存水や簡易トイレの備蓄、橋梁修繕、交通量が多い路線の舗装更新により運転時の安全性を向上させることで、安心安全なまちづくりを目指す。	125,100千円	その他町長が必要と 認める事業 125,100千円

※上記の活用事業は、事業費の一部に基金を活用する事業を含む。